

東邦大学医療センター大森病院東洋医学科活動報告

教授	三浦 於菟
助教	河野 吉成
シニアレジデント	板倉 英俊
レジデント	奈良 和彦
専攻生	植松 海雲
大学院生	田中耕一郎
	水野 真一
客員講師	後藤 友彦
	斉藤 輝夫
	橋口 亮
	住田 憲是
	林田 和郎
	福島 厚
鍼灸主任	土屋 喬
鍼灸師	桑名 一央
	塚田 心平
	吉田 和裕

◇沿革

研究中心ではなく、より臨床に即した開かれた医療を実践しようという東邦大学医学部附属病院の理念の基、平成17年2月より開設された。本科は総合診療科・急病科学講座の一診療科である。

◇診療活動

外来診療を中心に以下の2部門よりなる。漢方薬治療部門は月より土曜日の1～2診。現在漢方エキス剤のみの診療であるが、今後は湯液診療を導入していく予定である。鍼灸治療部門は、土曜日以外の午前午後に行っている。また以下の特殊外来がある。

①鍼灸特殊外来(担当・土屋喬) 一主に難治性疾患の鍼灸治療をおこなう。

②婦人科特殊外来(担当・橋口亮) 一婦人科疾患の漢方薬治療をおこなう。

③口腔疾患特殊外来(担当・福島厚) 一舌・口腔疾患の漢方薬と鍼灸治療をおこなう。

④疼痛疾患特殊外来(担当・住田憲是) 一腰痛・筋関節痛などの診療をおこなう。

⑤直腸肛門痛特殊外来(担当・後藤友彦) 一直腸・肛門・会陰部などの疼痛の鍼灸治療をおこなう。

来科全患者数は30～40/日程度である。

◇機関としての諸活動

【教育】

〔医学部〕学生・前後期研修医・大学院の東洋

医学教育カリキュラムが準備されている。以下その概要を記す。

1. 学生教育—他の科目とも関連性を持たせながら、各学年に応じて段階的に教育をおこなう。東洋医学の基本的知識(医学史・生理病態学・治療学・鍼灸治療学)と診察方法、臨床の実際、日本の民間医療、西洋医学との相違、東洋医学の文化的側面、民間伝統医療、他の民族医学などを学ぶ事を目的とする。

(講義) ①第一学年—“全人的医療と東洋医学〈必須〉”(2コマ・140分)。全人的医療教育カリキュラムの一環。

②第二学年—“漢方薬物学〈必須〉”(2コマ・140分)。薬理学カリキュラムの一環。

③第一・二・三学年—“東洋医学〈選択必修〉”(14コマ・11.7時間)。医学基礎と教養科目の一環。東洋医学の全般的解説。春季と秋季同様講義をおこなう。

(臨床実習) 第六学年の希望者に東洋医学の基本的診察方法につき、3～4週間程度の外来実習。

2. 卒後教育—前期研修医教育では、2年目の希望者に一～三ヶ月の研修を行う。東洋医学的診察方法と基本的エキス剤の使い方につき研修する。後期研修医(レジデント)教育は5年間であり、東洋医学専門医の育成を目的とする。

3. 大学院と博士号取得。東邦大学の大学院規定に基づき博士号を取得することができる。22年度は2名在籍。

〔薬学部〕4年生を対象として臨床漢方治療学(14コマ・16.4時間)を講義している。

【研究】

東洋医学的観点に基づく、より臨床に根ざした研究を方針としている。成果は下記の業績の如きである。

◇留学生の動向

現在留学生はいない。留学生の受け入れは東邦大学の規定に基づく。

◇業績

【論文】

- 1) 田中耕一郎、三浦於菟：植物学と東洋医学—中薬学的にみた部位と効能—(上)、漢方研究、1号、9-12、2010、平成22年、1月20日、通巻457号
- 2) 河野吉成：中薬快鼻膏がアデノイドの症状軽減に有効であった小児の一例、伝統と医療、6

- (1)、1号、6-9、2011、平成22年、1月
- 3) 三浦於菟：たかがホテリという勿れ-漢方方劑誤用症例-、漢方研究、2号、40-43、2010、平成22年、2月、通巻458号
 - 4) 田中耕一郎、三浦於菟：植物学と東洋医学-中薬学的にみた部位と効能-(下)、漢方研究、2号、66-71、2010、平成22年、2月、通巻458号
 - 5) 河野吉成、三浦於菟：繰り返す憩室炎に腸癰湯が奏功した2例、漢方の臨床、57(2)、2号、259-266、2010、平成22年、2月
 - 6) 三浦於菟：転帰となった症例-清水日本平の縹渺たる太平洋から吹く風によせて-、東静漢方研究室、33(1.2)、1・2合併号、103-106、2010、平成22年、4月18日、149・150記念合併号
 - 7) 三浦於菟：濟世医録18-黄連解毒湯の頭痛-、東静漢方研究室、33(1.2)、1・2合併号、162-164、2010、平成22年、4月18日、149・150記念合併号
 - 8) 田中耕一郎、河野吉成、板倉英俊、吉田和裕、土屋喬、橋口亮、齊藤輝夫、三浦於菟：補中益気湯と清暑益気湯との感冒様症状に関する一考察、東静漢方研究室、33(3)、3号、8-13、2010、平成22年、6月21日、通巻151号
 - 9) 田中耕一郎、三浦於菟：『三訂通俗傷寒論』-温病学を傷寒論に取り込んだ傷寒学派、漢方の臨床、57(4)、4号、634-647、2010、平成22年、4月25日、668号
 - 10) 田中耕一郎、三浦於菟：南方熊楠と生薬学、漢方の臨床、57(6)、6号、969-979、2010、平成22年、6月25日
 - 11) 田中耕一郎、三浦於菟：芥川龍之介と蜜柑、漢方の臨床、57(7)、7号、1139-1144、2010、平成22年、7月25日、671号
 - 12) 三浦於菟：補注益気湯の臨床像と特異的病態-有効25例による検討-、漢方と診療、1(3)、3号、189-193、2010、平成22年、8月
 - 13) 三浦於菟：中国古医籍よりみた当帰六黄湯の成立と諸説、日東医誌、61(5)、5号、740-745、2010、平成22年、8月
 - 14) 三浦於菟：気概念と病態-主に近世医書よりみた概説-、日東医誌、61(6)、6号、821-827、2010、平成22年
 - 15) 三浦於菟：濟世医録19-啓脾湯、半夏瀉心湯など多剤使用で軽快した嘔気の一例、東静漢方研究室、33(4)、4号、10-14、2010、平成22年、8月20日、152号
 - 16) 西村玲子、芹沢敬子、中山あすか、奈良和彦、植松海雲、田中耕一郎、板倉英俊、河野吉成、橋口亮、三浦於菟：不正出血に補中益気湯合芍婦調血飲が有効であった一例、東静漢方研究室、33(4)、4号、15-17、2010、平成22年、

8月20日、152号

- 17) 吉田和裕、河野吉成、橋口亮、三浦於菟：鍼灸治療により消退した卵巣嚢腫の一例、漢方の臨床、57(8)、8号、1327-1337、2010、平成22年、8月25日、672号
- 18) 田中耕一郎、三浦於菟：東洋医学的な「火」は実在するか?-感覚論から見る一考察-漢方の臨床、57(8)、8号、1411-1418、2010、平成22年、8月25日、672号
- 19) 河野吉成、三浦於菟：薏苡仁エキスの意外な効果、漢方研究、10月号、394-397、2010、平成22年、10月20日、466号
- 20) 田中耕一郎、板倉英俊、河野吉成、奈良和彦、吉田和裕、植松海雲、三浦於菟：鉍物業の効能の傾向に関する考察-粘土状の鉍物、鉄を含む鉍物-、漢方の臨床、57(10)、10月号、1745-1755、2010、平成22年、10月25日、通巻674号
- 21) 河野吉成、三浦於菟：頑固な便秘と月経痛に三黄瀉心湯が有効であった一例、漢方研究、11月号、2-4、2010、平成22年、11月25日、467号
- 22) 田中耕一郎、三浦於菟：植物学と東洋医学②種子-中薬学的にみた部位と薬効とその方向性-(上)、漢方研究、11月号、8-11、2010、平成22年、11月25日、467号
- 23) 田中耕一郎、三浦於菟：植物学と東洋医学②種子-中薬学的にみた部位と薬効とその方向性-(下)-、漢方研究、12月号、8-12、2010、平成22年、12月25日、468号

【著作】

- 1) (監修)三浦於菟：ホリスティック家庭の医学療法、989、ガイアブックス、2010、平成22年
- 2) (分担)板倉英俊、三浦於菟：CASE9・75歳女性「20日前からの下肢浮腫」、『臨床推論ダイアローグ』、68～78、医学書院、2010、平成22年
- 3) (分担)三浦於菟：甘草と附子の効能、『臨床推論ダイアローグ』、45、医学書院、2010、平成22年

【学会発表】

(シンポジウム)

- 1) 板倉英俊、水野真一、奈良和彦、田中耕一郎、植松海雲、河野吉成、齊藤輝夫、橋口亮、土屋喬、三浦於菟：大定風珠で本態性震顫の改善を認めた一例、第61回日本東洋医学会学術総会2010、平成22年、6月

(特別講演、教育講演)

- 1) 三浦於菟：中医学のまばろしと盗汗の病態、平成21年度日本東洋医学会関東甲信越支部第2回東京都部会、2010、平成22年、1月
- 2) 三浦於菟：皮膚科の漢方治療-皮膚病の語源を

含めた皮膚病の基本的考え方-、日本東洋医学会関東甲信越支部 栃木県部会・第17回学術集会、2010、平成22年、9月

(一般演題)

- 1) 三浦於菟、河野吉成、板倉英俊、田中耕一郎、橋口亮、植松海雲、奈良和彦、水野真一、土屋喬、吉田和裕、桑名一央、塚田心平、小菅孝明、斎藤輝夫：補中益気湯の臨床像-有効25例による検討-、第1回日本病因総合診療医学会学術総会、2010、平成22年、2月
- 2) 田中耕一郎、瓜田純久、奈良和彦、水野真一、植松海雲、板倉英俊、河野吉成、佐仲雅樹、中島均、三浦於菟：六君子湯が糖・脂質代謝に及ぼす影響について、第2回日本病因総合診療医学会学術総会、2010、平成22年、2月
- 3) 板倉英俊、田中耕一郎、吉田和裕、三浦於菟、杉本元信：二次救急と漢方処方有用性について、第2回日本病因総合診療医学会学術総会、2010、平成22年、2月
- 4) 吉田和裕、板倉英俊、水野真一、奈良和彦、田中耕一郎、植松海雲、河野吉成、斎藤輝夫、橋口亮、土屋喬、三浦於菟：再発性外陰・膣ガンジタ症に対し鍼治療と漢方薬の併用による早期治効した一例、第61回日本東洋医学会学術総会、2010、平成22年、6月
- 5) 三浦於菟、吉田和裕、板倉英俊、水野真一、奈良和彦、田中耕一郎、植松海雲、河野吉成、斎藤輝夫、橋口亮、土屋喬、小菅孝明、桑原一央：感冒の東洋医学的病態像(第3報)-線型判別関数による風寒感冒と風熱感冒の判別の試み-、第61回日本東洋医学会学術総会、2010、平成22年、6月
- 6) 田中耕一郎、吉田和裕、板倉英俊、水野真一、奈良和彦、植松海雲、河野吉成、斎藤輝夫、橋口亮、土屋喬、三浦於菟：脳性麻痺の痙攣発作に抑肝散加陳皮半夏合小建中湯が有効であった一例、第61回日本東洋医学会学術総会、2010、平成22年、6月
- 7) 河野吉成、田中耕一郎、吉田和裕、板倉英俊、水野真一、奈良和彦、植松海雲、斎藤輝夫、橋口亮、桑名一央、土屋喬、三浦於菟：むずむず症候群に小建中湯が著効した一例、第61回日本東洋医学会学術総会、2010、平成22年、6月
- 8) 植松海雲、河野吉成、田中耕一郎、吉田和裕、板倉英俊、水野真一、奈良和彦、斎藤輝夫、橋口亮、桑名一央、土屋喬、三浦於菟：低血圧に伴う朝の倦怠感をはじめとする諸症状に漢方治療が奏功した一例、第61回日本東洋医学会学術総会、2010、平成22年、6月
- 9) 奈良和彦、植松海雲、河野吉成、田中耕一郎、吉田和裕、板倉英俊、水野真一、奈良和彦、斎藤輝夫、橋口亮、桑名一央、土屋喬、三浦於菟：慢性的な微熱に小柴胡湯加味方が有効であった一例、第61回日本東洋医学会学術総会、2010、平成22年、6月
- 10) 水野真一、奈良和彦、植松海雲、河野吉成、田中耕一郎、吉田和裕、板倉英俊、奈良和彦、斎藤輝夫、橋口亮、桑名一央、土屋喬、三浦於菟：通導散合防風通聖散、鍼灸治療併用にて下肢疼痛の著明な改善をみとめた一例、第61回日本東洋医学会学術総会、2010、平成22年、6月
- 11) 三浦於菟、河野吉成、田中耕一郎、板倉英俊、植松海雲、奈良和彦、芹沢敬子、中山あすか、塚田心平、桑名一央、吉田和裕、土屋喬、肺口亮、小菅孝明、斎藤輝夫：五積散合柴胡桂枝乾姜湯が有効であった不明熱を伴う関節痛の症例、日本東洋医学会第67回関東甲信越支部学術総会、2010、平成22年、10月
- 12) 奈良和彦、河野吉成、田中耕一郎、板倉英俊、植松海雲、水野真一、塚田心平、桑名一央、吉田和裕、土屋喬、肺口亮、小菅孝明、斎藤輝夫、三浦於菟：成人の上腹部痛および梅核気症状に小建中湯が奏功した一例、日本東洋医学会第67回関東甲信越支部学術総会、2010、平成22年、10月
- 13) 河野吉成、奈良和彦、田中耕一郎、板倉英俊、植松海雲、水野真一、芹沢敬子、中山あすか、塚田心平、桑名一央、吉田和裕、福島厚、土屋喬、肺口亮、斎藤輝夫、三浦於菟：琵琶の種の意外な効果、日本東洋医学会第67回関東甲信越支部学術総会、2010、平成22年、10月
- 14) 吉田和裕、河野吉成、奈良和彦、田中耕一郎、板倉英俊、植松海雲、水野真一、芹沢敬子、中山あすか、斎藤均、肺口亮、斎藤輝夫、三浦於菟：身体表現性障害と考えられた上肢筋力低下症が鍼治療を通して改善した一例、日本東洋医学会第67回関東甲信越支部学術総会、2010、平成22年、10月
- 15) 田中耕一郎、奈良和彦、三浦於菟、瓜田純久、杉本元信：Effect of Rikkunshito on postprandil gucose and lipid metabolism、第64回東邦医学会総会、2010、平成22年、11月

◇普及・啓蒙活動

- 1) 東邦大学臨床講堂にて、実践東洋医学講座[8回]を行った。(内容)①原典よりみた漢方方劑解説、②生薬よりみた漢方方劑解説、③特別臨床講義、④鍼灸の基礎と応用、⑤基本症例カンファレンス、⑥応用症例カンファレンス
- 2) 三浦於菟：花粉症と感冒、第9回横浜東洋医学

- 研究会、2010、平成22年、1月
- 3) 三浦於菟:便秘と下痢の漢方治療、東邦大学薬学部生涯学習講座、2010、平成22年、2月
 - 4) 三浦於菟:養生法について、佐倉看護学校父母会、2010、平成22年、6月
 - 5) 三浦於菟:なるほど納得漢方講座-1-、メディセオ研修会、2010、平成22年、6月
 - 6) 三浦於菟:なるほど納得漢方講座-2-、メディセオ研修会、2010、平成22年、7月
 - 7) 三浦於菟:夏風邪と漢方、東邦会福岡県支部総会、2010、平成22年、7月
 - 8) 三浦於菟:汎用される漢方方剤、メディセオMR導入研修会、2010、平成22年、8月
 - 9) 三浦於菟:中薬学-1-、第11回中医学研修講座-基礎の部-、東方医療振興財団-東方医学会、2010、平成22年、5月
 - 10) 三浦於菟:中薬学-2-、第11回中医学研修講座-基礎の部-、東方医療振興財団-東方医学会、2010、平成22年、6月
 - 11) 三浦於菟:治法と方剤-利水剤と活血化瘀剤-、第11回中医学研修講座-臨床の部-、東方医療振興財団-東方医学会、2010、平成22年、9月
 - 12) 三浦於菟:臨床実践応用解説・消化器疾患の処方〔1〕、東邦大学薬学部生涯学習講座・平成22年漢方講座、2010、平成22年、10月
 - 13) 三浦於菟:なるほど納得漢方医学-3-、メディセオ研修会、2010、平成22年、10月
 - 14) 三浦於菟:漢方聞き得ばなし-聞いて納得、知って得する東洋医学のお話-、東邦大学大学祭-メディカル講座-、2010、平成22年、10月
 - 15) 三浦於菟:補益剤を使った漢方治療、横浜市港北区東洋医学会・学術講演会、2010、平成22年、11月
 - 16) 三浦於菟:祛湿剤を使った漢方治療、横浜市港北区東洋医学会・学術講演会、2010、平成22年、2月